

Leading Innovation >>>

長形パイプフード ステンレス製
防火ダンパー付長形パイプフード ステンレス製

φ100

φ150

φ200

- ガラリ付 DV-100SLF₁ DV-150SLF₁ DV-200SLF₁
- 防虫網付 DV-100SLNF₁ DV-150SLNF₁ DV-200SLNF₁
- 防火ダンパー付・ガラリ付 DV-100SLDF₁ DV-150SLDF₁ DV-200SLDF₁
- 防火ダンパー付・防虫網付 DV-100SLDNF₁ DV-150SLDNF₁ DV-200SLDNF₁

●この防火ダンパー付長形パイプフードには一般用72℃の温度ヒューズが取付けてあります。居室など高温になる場所以外でご使用ください。厨房、台所、湯沸室、ボイラー室など高温になる場所では、別売温度ヒューズ120℃に交換してください。

- このたびは（防火ダンパー付）長形パイプフードをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの（防火ダンパー付）長形パイプフードを正しく使っていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- この（防火ダンパー付）長形パイプフードは屋外に据付けて雨風の侵入を防止するために使用します。
- 防火ダンパー付長形パイプフードは火災が発生したとき換気口から他への延焼を防止するために使用します。
- 防火ダンパー付長形パイプフードは地区により規制を受ける場合がありますので、ご使用にあたっては、あらかじめ所轄官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- この（防火ダンパー付）長形パイプフードは換気扇をダクト配管して給気・排気をする場合に屋外側のダクト先端に据付けて使用するものです。（手の届かないところへは据付けしないでください。）
- 本製品は換気以外の目的で使用しないでください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するため、正しい据付けが必要です。
- 据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または*1重傷を負うことが想定されること”を示します。
注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が*2軽傷を負うことが想定されるか、または*3物的損害の発生が想定されること”を示します。
<small>*1重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。 *2軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。 *3物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。</small>	

図記号	図記号の意味
使用禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で指示します。 左図の場合は「使用禁止」を示します。
手袋をする	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で指示します。 左図の場合は「手袋をする」を示します。

警告

防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない
誤動作によりダンパーが閉じて不完全燃焼により、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



常時振動したり、振動しやすい場所には据付けない
落下によるけがの原因になります。



必ず定期的（1年以内ごと）に点検を行う
異常を見つけれない原因になります



注意

強度のある所に確実に据付ける
落下により、けがの原因になります。



据付け、お手入れの際は必ず手袋を着用する
けがの原因になります。

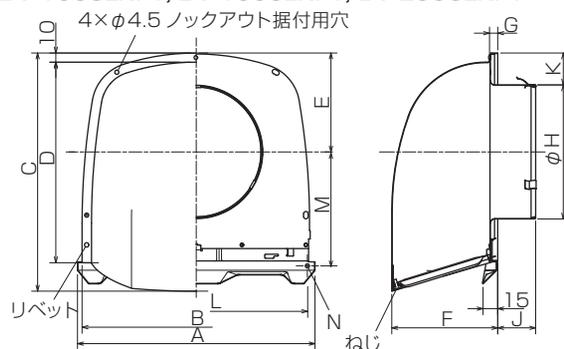


お願い

- 万一火災が発生し、防火ダンパーが働いたときは、換気できません。そのときは温度ヒューズを交換してください。（専用温度ヒューズをご使用ください）
- 温度ヒューズの交換時には、安全のため手袋を着用してください。けがのおそれがあります。
- 使用環境が-30℃～50℃の範囲になる場所で使用してください。
- ステンレス製品は強い防錆力がありますが、海岸近くなど塩害の強い地域では錆が発生することがあります。
- この製品は汚染ガス耐力（酸、薬品、温泉害など）を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
 - ・化学工場、パルプ工場などの構内およびその周辺地域
 - ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
 - ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
 - ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
 - ・融雪剤が飛散する場所
- 屋外より点検・清掃や温度ヒューズの交換が容易にできる場所へ据付けてください。
- ダクトには、雨水の浸入を防ぐため、屋外へ向けて下りこ配をつけてください。（排気ダクト：1/100以上、給気ダクト：1/30以上）
- 据付けに支障がないよう、ダクト（防火ダンパー付は不燃性ダクト）が外壁面まで配管してあるか確認してください。外壁面より飛び出た部分は予め切断してください。
- 壁面とダクトの隙間にシーリング材（防火ダンパー付は不燃性シーリング材）を塗布してください。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装のはく離や製品各部の変色、腐食の原因となります。必ず下記の方法としてください。
 - ・タイル仕上げの外壁…必ずタイルの酸洗い後に製品を据付けてください。
 - ・吹付塗装仕上げの外壁…必ず吹付塗装後に製品を据付けてください。
 製品据付け後、酸洗いや吹付塗装を実施する場合は、有機溶剤などが製品に触れないように必ず養生テープなどで養生してください。また、養生テープをはずした後は、必ず製品を水洗いしてください。
- ガラリ幅（16mm）以下の小動物（アブラコウモリなど）が侵入する可能性のある環境には、網付を推奨いたします。
- 網より小さい虫（ショウジョウバエ、ウンカなど）は侵入するおそれがあります。
- 室内側からの汚染空気や設置環境により、外壁面が汚れることがあります。

外形図

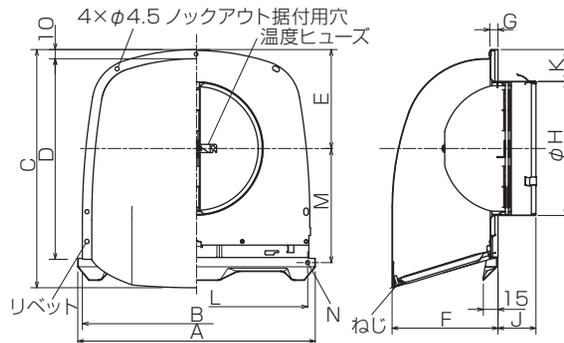
■DV-100SLF₁, DV-150SLF₁, DV-200SLF₁, DV-100SLNF₁, DV-150SLNF₁, DV-200SLNF₁



■DV-100SLDF₁, DV-150SLDF₁, DV-200SLDF₁, DV-100SLDNF₁, DV-150SLDNF₁, DV-200SLDNF₁

別売品

- 温度ヒューズ 72℃（居室など高温になる場所以外にご使用ください。）
- 温度ヒューズ 120℃（厨房、台所、湯沸室、ボイラー室など高温になる場所にご使用ください。）



単位 (mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N
DV-100タイプ	206	196	201	169	78	85	9	97	42	30	-	-	-
DV-150タイプ	260	250	260	219	108	116	9	147	42	35	-	-	-
DV-200タイプ	310	300	315	267	127	141	8	197	43	29	292	156	2×φ5.5 網付用穴

据付け前の準備

- 据付け前に下記のものをご用意ください。
- ・シーリング材（JIS A 5758適合品のシリコン系、変成シリコン系）
 - ・木ねじ（φ3.8×25mmのステンレス製）
 - ・カールプラグ（φ8×25mm以上）

据付方法 ※据付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。

据付方法は下表を参照し、選定してください。

お願い

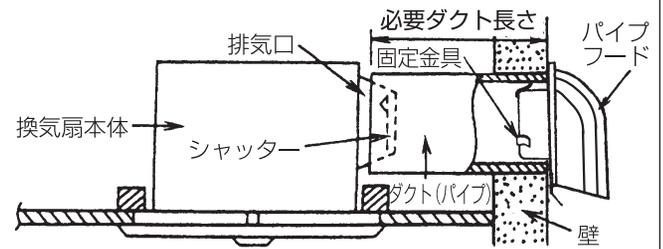
- 外風が30m/s以上吹く可能性のある場所に据付ける場合は、適用パイプにかかわらず据付方法③を選定してください。

適用パイプの種類	口径	据付方法		
		DV-100タイプ	DV-150タイプ	DV-200タイプ
スパイラルダクト		①	①	②
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)		①	-	-
硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)		③	③	③

- 温度ヒューズが正常に取付けられて、ダンパーが開いていることを確認してください。

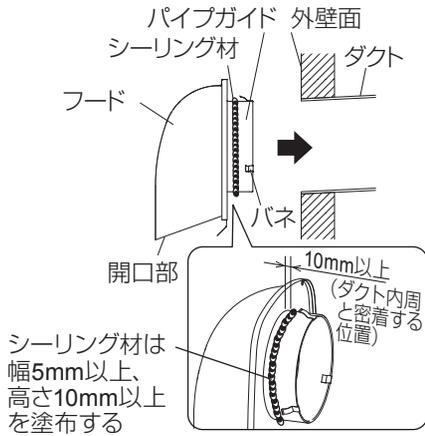
- この製品を換気扇排気口の近くに据付けるとシャッターが開きませんので、必ず下記の長さ以上のダクトを換気扇本体に接続してください。

DV-100タイプ：180mm以上
DV-150タイプ：150mm以上
DV-200タイプ：240mm以上

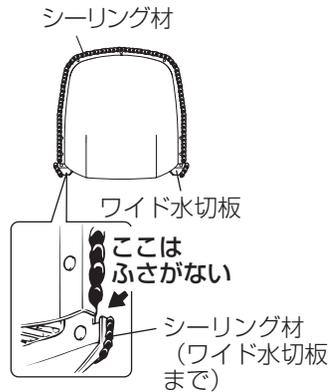


シーリング材塗布方法

■パイプガイドへの塗布

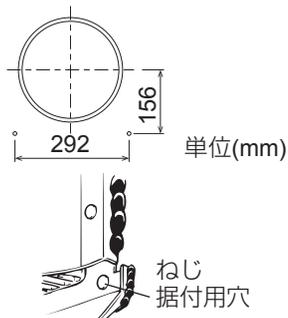


■製品全周への塗布

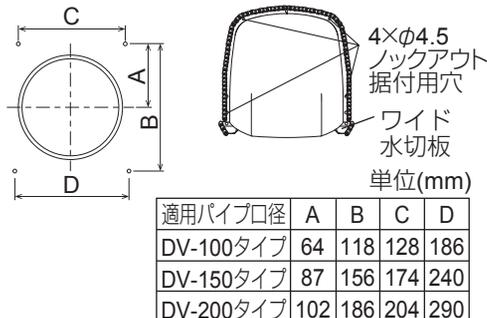


ねじ据付穴寸法

■据付方法②の場合



■据付方法③の場合



適用パイプ口径	A	B	C	D
DV-100タイプ	64	118	128	186
DV-150タイプ	87	156	174	240
DV-200タイプ	102	186	204	290

お手入れ

点検項目

- 製品の据付け状態は正常であるか?
 - シーリング材に亀裂などの劣化はないか?
 - ねじ類に緩みなどないか?
 - 製品各部に腐食や塗装の浮きなどがないか?
 - 温度ヒューズに著しい腐食(銅板が青緑色へ変色)の発生がないか?
 - 樹脂部品に割れなどがないか?
 - 温度ヒューズが作動し、ダンパーが開じていないか?
- ※点検は、1級建築士、2級建築士、または国土交通大臣が定める有資格者の方が実施してください。(国土交通大臣が定める有資格者とは、建築基準適合判定資格者、登録建築設備検査資格者講習修了者、または維持保全に関して2年以上の実務経験者を指します)
- ※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品(製品)の交換をお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。

清掃

- 海岸近くなど塩害の強い地域では、付着した塩分などを除去するため定期的(1年以内ごと)に水洗いを行ってください。塩分や黄砂などの汚れをそのままにしておきますと腐食の発生原因となります。(水洗い後は、よく乾かしてください)
 - 網付の場合は油やほこりが付着しますと換気風量の低下や換気扇の故障の原因となりますので3か月に1度を目安に清掃を行ってください。
 - 網をはずして掃除機などで汚れを吸い取る
 - 中性洗剤を溶かした水かぬるま湯(40℃以下)に浸して洗い、汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かしてください。
- ※清掃・修理などの際には、下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。
- 製品表面に傷つきや変色が発生する原因になります。
- シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など

据付方法①

1. フードを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)(防火ダンパー付は不燃性シーリング材)
2. 開口部が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込み、ねじ据付用穴を木ねじで確実に固定する。
3. フード全周およびワイド水切板下部と外壁面のすき間にシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)

据付方法②

1. 左図を参照してあらかじめ外壁面にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あけ、カールプラグを挿入する。
2. フードを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)(防火ダンパー付は不燃性シーリング材)
3. 開口部が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込み、ロックアウト据付用穴を木ねじで確実に固定する。
4. フード全周およびワイド水切板下部と外壁面のすき間にシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)

据付方法③

1. 左図を参照してあらかじめ外壁面にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あけ、カールプラグを挿入する。
2. フードのロックアウト据付用穴4か所をドライバーなどで抜く。(外形寸法図参照)
3. フードを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)(防火ダンパー付は不燃性シーリング材)
4. 開口部が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込み、ロックアウト据付用穴を木ねじで確実に固定する。
5. フード全周およびワイド水切板下部と外壁面のすき間にシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)

温度ヒューズの取付け

※温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じている場合は手順①、温度ヒューズを交換する場合は手順④から始めてください。取付け・交換はお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。

- ① ガラリ(または網)を止めているねじ1本をゆるめ、ガラリ(または網)の引掛部を押し上げた状態で下に引き抜く。
 - ② 開口部から手を入れて、温度ヒューズのフックで片方のダンパーの引掛部を引掛け、片方のダンパーを起こす。
 - ③ 手を入れてもう片方のダンパーを裏側から押すように起こす。
 - ④ 両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。(はさみにくいときは、ラジオペンチなどを使用してください)
 - ⑤ ガラリ(または網)の引掛部をワイド水切板のスリットに差し込み、元通り取付ける。
- ※温度ヒューズの交換が困難な場合は、製品を壁面からはずして交換をしてください。交換後は据付け時と同様の手順で据付けてください。

